



“Program Update”

MRJ 搭載の P&W 製 PW1200G エンジン FAA の型式証明を取得

MRJ(Mitsubishi Regional Jet)に搭載するプラット・アンド・ホイットニー(Pratt & Whitney :P&W)製の PurePower® Geared Turbofan™ PW1200G エンジンが、米国連邦航空局 (FAA) の型式証明を取得しました。PW1200G エンジンは FAA の定める型式証明の要件クリアに向け、15 種類を超えるシステムレベルの基幹試験に成功。これらの試験を通して、性能・耐圧・耐荷重・耐久性・排出ガス・騒音・鳥衝突・ファンブレードコンテインメントといった項目において型式証明取得にあたり必要とされるデータを獲得しました。

MRJ は MRJ70、MRJ90 とともに 2 基のエンジンを搭載、PW1200G エンジンの性能を最大限に引き出すように機体の設計を最適化しています。また、エンジンに採用された先進技術が現行のリージョナル機と比べて機体の運航コストを 10~20%、最新の基準に対して排出ガスを 50%低減し、同クラス機で最高の運航経済性と環境適合性をもたらします。



PurePower® Geared Turbofan™ PW1200G エンジン



“Hot Topic”

モーゼスレイクフライトテストセンターから

モーゼスレイクフライトテストセンターでは、試験機 4 機を効率的に使用し、ハイレートで各種試験を進めてまいります。



4 機が同じ場所に揃う様子

Latecoere 社が MRJ 開発プログラムに参画

三菱航空機は現在、最新の安全性適合基準を満たすべく、MRJ の電気配線全体の設計変更作業を実施しています。今般、この作業のパートナーとして Latecoere Interconnection Systems 社 (旧 LATelec 社) を選定しました。今回の Latecoere 社の参画は、三菱重工および三菱航空機が 1 月に発表した設計課題の解決に向け、大変大きな一歩となります。三菱航空機本社では、最先端の設計ツールを導入し、Latecoere 社と三菱航空機が一体となったエキスパートチームにより作業を加速しています。三菱航空機は今後も、Latecoere 社を含むパートナーと協力し、MRJ プロジェクトの成功に向けて邁進してまいります。



Latecoere 社と三菱航空機で結成されたチーム

北米での MRJ 機体 MRO サービスに関し パートナー 2 社と正式契約を締結

三菱航空機は、北米における MRJ の推奨機体 MRO (Maintenance, Repair and Overhaul: 整備・修理・分解点検) を担うパートナーとして、HAECO Americas 社と PEMCO World Air Services 社の 2 社と正式契約を締結しました。(基本合意については昨年発表)

今回の契約により、推奨機体 MRO にかかわるカスタマーサポート体制が大幅に強化されます。今回の正式契約を契機として、更なる高品質なカスタマーサポートの提供を目指します。